
夫の弟
私が精子提供で
身籠ったあの夜
-完結編-


明くんお待たせ！
カシャ
あっ
こんにちはマリちゃん
ぱたたた…
ぱ…


ぞくっ
はぁ…
ぞくっ
マ…
マリちゃん…っっ
クチュッ
クチュッ
ビクッ
ビクッ
ビクビク
ただいま
辰彦が
大学生の頃の
話なんだが…
わい
わいワ


その話はやめてくださいよお父さん！
ははっ
わいっ
わいっ
鞠子ちゃんの前で恥ずかしいな…
辰彦さんっておもしろいですね
そうだ俺はただ
「この時も」利用されただけだったな…


パチ
パチ
パチ
パチ
久しぶりね、明
アメリカの
大学生活はどう？
姉さん…
辰彦兄さんね
大学生だった鞠子ちゃんが
中学生の明に
勉強を教えていた姿を見て
惚れたんだって
明が
恋のキューピッド
だったのね
長男の
辰彦兄さんは
誰に対しても
誠実で優しい


最初から
恵まれた
人生だから
人に優しく
できるんだろうな…
え？
上の兄姉(きょうだい)たちは
有名な学習塾や
習い事にも
通わせてもらえて
みんな
名門大学へ
入学し
長男は
当たり前のように
父親の会社も継ぐ
地位や名誉
欲しいもの
全部手に入れて
良き夫
良き父親に
なるんだろう
…やっぱり
辰彦兄さんには
適わなかったな


今日たまたま
インターネットで
記事を見つけたんだけど
今って
精子バンクのサイトが
いくつもあるんだね
匿名のSNSで
経歴や運動技能を
証明できる相手から
精子だけ提供してもらう
夫婦も増えてるんだって


そ
そんなものが
あるのか…
私も
初めて
知ったわ
鞠子は…
赤の他人の精子を…
もらうことを
希望して
いるのか…？


…ううん
辰彦さんにばかり
負担をかけてるから
私もネットで
出来る限りのことを
調べてただけよ
でも子供が
いなくたって
辰彦さんと
2人きりで楽しく
生きていければ良いの！
それが
私たち夫婦にとって
一番大切でしょ？


鞠子…
こんな深夜に
起きてるのか？
グズッ
ガタッ…
う…
グズッ
うぅ…っ
グズ
精子提供
検索
画像
動画
約312802977件の結果
精子提供・マッチングボランティ
htpp://www.babyhappy/matching.com
精子バンク－精子提供について－
htpp://future.net/haveachild……
ガタッ


この先一生
子供はできない
みたいなんだ
…叔父さんの
大学病院は
行った？
信頼できる専門医の元で
出来る限りのことは
検査し尽くしたし
父さん達の耳に入るから
親戚がいる病院には
行けない…
他の兄弟たちには
もうパートナーや
子供もいるし
本当は
家族の誰にも
言うつもりはなかった…


問題があるのは
僕の精子だけだから
鞠子には
自分の産んだ子供を
抱かせてやりたい…
明の人生も
狂わせてしまうかも
しれないことは
分かってる…
最後の望み
なんだ
頼む、明…
あ…
あぁ…
はぁ…♡
ぱん
ぱちゅ


ちゅっ
ちゅく
ん…♥
あ 明く…ッ♥
ひっ♥
ダ…ダメ 深いとこ…♥
あっ♥
おっ♥
おっ奥…♥
押し込んじゃ…っ♥
あ～…♥


はぁ
はぁ
あっ
もう膣内…
明くんので
いっぱい…っ
入んない
…っ
ぬぷぷぷ…っ
ぐぷっ
ゆさゆさっ♥
ぐぷっ
ふうっ
ふっ
あーあ
鞠子さんの
マンコ…
ゴロ…!
グッグッ
ひ…っ♥
んっ
あ♥
あぁっ♥


俺の形になっちゃったね…
ひ…っ
いやぁ…♥
きゅんっ♥
きゅんっ
あっ♥
あ♥
あんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱん…♥
ちゅ♥
ふ…ぅ
ちゅ…
好きなトコいっぱい突いてあげるから
後ろ向いて…
ぞくっ
ぞくんっ
ん…っ♥


ぽろ
やぁっ
あ
抜けちゃ…❤
ごぽぉっ
ビクッ
ギッ
ギッ
もぅ❤
いやぁっ
ひ…❤
あ…っ
あ❤
あ…❤
ゾクッ
ゾクッ
ゾクゾクゾク…!!
ちゃんと精子が漏れないようにしないと…
ビクッ
ひっ
んぅ…
ビクッ
あ…❤
だめぇっ❤
ぬぷぷぷ…っ❤
ぎゅっ


一滴も漏らさないように
ちゃんと締めつけておいて
ビクッ
ビクッ
あ、
あ…
ひっ
きゅうっ♥
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
あ…激し♥
やっ♥
きゅんっ♥
やさ♥
あぁ…
ひっ♥
んっ
ぬちゅ♥
やさっ
おっ奥きちゃ…♥
あ♥
子宮の入り口に出すから…っ
…ッ


もっと足開いて…
あ…っ♥
あっ
はぁ…っ
また膣内(なか)…いっぱい…♥
どくどくっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビュルルル…
ビクン
子宮…溢れちゃ…♥
んっ
やば…止まんないっ…
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ふぅ…ッ
あっ
あぁ…♥
あっ


もうすぐ辰彦さ…ん帰ってきちゃ…ぅ
ぴくっ
ぶるっ
ぁ…
ぁ…
びくっ
ぐちゅ…
ん…
ちゅ
ぬぽっ
はぁ…ん…
出ちゃ…
ん…っ
ぞくっ
ぞくっ
ん…
くぽ…っ
トロ…ォ
ぶるっ
ぁ
挿れちゃダメ…
もう…無理…ッ
ひっ
ぁ
明く…んっ
ぁぁ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぐぽ…っ
ぐちゃっ
ぐちゃっ


一滴も零すなって言ったじゃん
すぽんっ
すぽっ
ビクッ
ごめんなさ…っ♥
あ♥
あっ
ひぅ♥
きゅん
ビクッ
ハニ
ハニ
ハニ
ひ…♥
あ♥
びくん
びくん
ひっ♥
ぱちゅ
ぱんっ
ビクッ
あ♥
明く…
もう…っ
休ませて…ぇ
キュン
キュン
もっと精子欲しいって
言ったのは鞠子さんでしょ
ぐぐっ
ぐりぐり
ん…っ♥
ズプ
ズプ
ズプ
あ…っ
あ～♥
あ…♥


あ…またダメなの…キちゃう…っ
ん…っ♥
あ♥
ふぅ…っ
モラダメ…っ♥
やぁっ
ビクッ
ぷるっ
ぷるっ
パン
パン
パン
あれ？鞠子さんまた先にイッちゃったんだ？
最初よりどんどん敏感になってるね
あ…っ
やぁっ
ゾクゾクッ
くいっ
あ…♥
クリッ
クリッ
はーっ
はーっ
はーっ
ビクッ
ビクッ
トロ
トロ…


もっと注いでほしかったら
鞠子さんが固くさせて
ぴとっ
ふっ
ちゅ
ぷちゅ
しちゅっ
ギシ
ぴとっ
ぐぽっ
んぐ…♥
ぢゅぢゅ
ちゅ
ぢゅぢゅ
ぐぽっ
ぐぽ
ぐぽ
ぐぽ…♥♥
ぴとん
しちゅっ
ん…♥
ふぅ…っ
ぢゅぽ…
ぢゅぽっ
ぴとぴと…


ちゅ
ちゅぅ
むぎゅ…
ビクッ
ビクッ
ちゅ
んぅ…❤
ふ…っ
ビクッ
鞠子さんの
こんな乱れた姿を
見たら…
兄さん
離婚したいって
言いだすかもよ？
ダメぇ…ッ❤
あ…っ
ちゅく…
ビクビクッッ


あ…❤
あ
くぱぁ…♡
そうなったら…俺とアメリカで暮らそう？
あ明く…
もうやだぁ…
ぴちゅっ
あ～…❤
あっ❤
あ❤
あっ
ふぅ…
鞠子さんのナカ気持ち良すぎて…
ひ❤
あ…っ❤
ひっ


ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
あっ♥
ひ…っ♥
あ…
すぐ出そう…っ
や…♥
ぎっ
ぎっ
ぎっ
あっ♥
ひっ♥
あ…
ビュルルル…
ビュク…
びくびく
ぐちゅ
あ
また…っ♥
ぐっ
ぐっ…
ぶるっ
……っ
ビクッ
ビクッ…


あっ♥
あ…
あ…
ビクッ
びくるるるっ♥♥
ビクン♥
ビクン♥
はぁ…
ちゅっ
ん…♥
ドクドクッ


ん…❤
はぁ…っ
ドゲッ!!
ぴくっ
ぴくっ
はぁ…
はぁ…っ
ダメだよ
鞠子さん
一滴も
漏らしちゃ…
ビクッ
あ…❤
グイッ


ぎゅう。
ビクッ
ビクッ
ガチャ


おかえり
兄さん
ガチャ。
あ
明…
お…
おかえりなさい
辰彦さん…っ
ハァハァ
Ah!!


ん…っ
はあ…っ
なにか食べる…？
……っ
ガクッ
ガク
…！
た辰彦さん…!?
ぐい!?
ガタッ
ガタッ


あっ
明くんに…っ
辰彦さんが
頼んだって…
本当なの…？
……
ガチャ…
あの
私…っ
昨日は…
ごめんなさい
辰彦さん…
……
ぐしゃ。
私…
この家から
出ていきます…
グッ…


あ
謝らないでくれ
鞠子…っ
なにもかも
僕が
悪いんだから…
でも…っ
グッ…
でも…
僕は絶対に
君と別れないからな
鞠子…っ！
え…
ビクッ
た
辰彦さん…!?
ギュッ
ギュウ…


ぴくっ
ぴくっ
たっ
辰彦さん…!?
あっ
すごい
濡れてる
じゃないか…
いやぁ…ッ
ぐちゅ
ぐちゅ…
ぐちゅ
あっ
ダメ…
辰彦さん
酔ってるの…!?
ぐちゅ…
ぐちゅ


ぐちゅ
ぢゅぽっ
あぁ…ッ
あ…っ
ビクッ
ビクッ…
見ちゃだめぇ…
ビクッ
ビクッ
ビクッ…
カバ
ばあ…
やだぁ…っ
辰彦さん
見ないで
こんなに…っ
あ…っ


ふ…
んっ…♥
ぐちゅん
ぷちゅ…っ
膣内に出されて…
どれだけ抱かれたんだ鞠子…っ
ぷちゅ…っ
ピクピクッ♥
やっ
やめて…っ
た
辰彦さ…んっ
ゾクン
あ。
ゾクッ
ぐちゅ
ぐちゅっ
ビクッ
ナカ掻き出さないでぇ…っ
くぱぁ。
ビクッ
ドロ
鞠子…！
ゴソ…


ひっ
あぁ…っ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
いっ
今は
ダメ…ッ
あ…
ビクッ
ビクッ
すぷぷぷぷっ
あ
明くんが
いるから…っ
ダメ…
ん…っ
ぐちゅ
ずちゅっ
あっ
あっ…
ひっ
いやぁ…っ
あっ
ぐりぐり
ビクッ


愛してる…っ
辰彦さ…
あ、
ん
ギシッ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
ギシッ
ぶっ
ぶっ
あっ❤
びくっ
絶対に
別れないからな
鞠子…っ！
ビュルルル…
ビクッ…
ぎゅっ
びくびくっ
鞠子お…っ
こ
声…っ
声
聞こえちゃう…っ
あっ
辰彦さ…ん
あっ
だめ…ぇ


…ん
カチャ
味噌汁いつもと味が違う気がする
美味しいな…
うん…
よく気付いたね
二日酔い気味だから少しだけアレンジしてみたの
…今朝のこと
あ…ありがとう鞠子…


辰彦さんも
明くんも
誰もなにも
言いださない…
2人の顔が
全然見れない…
辰彦さんは
ただ血が繋がっている
子供が欲しいから
という理由だけで
明くんと
私が昨日の夜
してしまったことを…
兄さん
鞠子さん
カチャ…


俺は
明日
この家を
出ていくよ
長い休みを
もらいすぎたし
ちょうど
向こうの研究室に
呼ばれているんだ
そ、そうか
ずいぶん
急だな…
今日で
鞠子さんの
ご飯食べれるの
最後だから
寂しいな
……


私
すごく…
ホッと
してる…
もしも
明くんから…
ドキ…
一緒に
アメリカへ来て
そう
言われたら
どうしよう
かと一日中
ずっと考えてた…


……
すう！
カチャ


ん…
かわいそうな
辰彦兄さん…
んぅ…


こんなに
中に出しても…
俺のを
上書きできる
わけないのにさ
クチュ…
チュプッ
ぐぷぷ
鞠子さんが
確実に
妊娠できるように
たっぷり
種付けして
あげるからね


はぁ…っ
ぱっ
スッ…
どうした鞠子？
眠れないのか…？
ギシ…
なっ
なんでもない…っ


きゅっ
鞠子を
抱いてほしいと
明には
僕から
話したんだ
それなのに
自分勝手に
嫉妬して…
あ、
辰彦さ…
愛してる…っ
ぶっ
ぶっ
あっ♥
絶対に
別れな
鞠子…
酔った勢いで
今朝はあんな
乱暴にして
すまなかった…

昔からずっと
明も鞠子を
好きだってことに
気付いてたのに

明が
アメリカにいる間に
僕は急いで
鞠子に結婚を
申し込んだんだ…

結婚するなら
君しかいない

君の両親だって
そう望んでくれて
いるはずだ

あの家の
長男として

小さい頃から
窮屈に生きてきた
僕にとっては

鞠子といれる
時間だけが
癒しで

鞠子が隣にいない、
そんな人生なんて
考えたくなかった

鞠子が
望んでいるものを
全部あげられることが

僕が
君にできる
唯一のことなんだ…


ずるいわ
辰彦さん…
私は最初から
ずっと…
言ってたじゃない…
子供が
出来なくたって
辰彦さんと
結婚したことを
後悔した日は
無かったのに…
明
例の話
今晩頼む…
…
鞠子さんを
抱いてくれ
って
あの話…？


兄さんらしくない
馬鹿な冗談だろ？
したところで
そんな簡単に
妊娠できる
わけがない…
大体いつも
鞠子さんの気持ちも
ろくに聞かずに
兄さんの理想や
俺たち
家族の都合を
鞠子さんだけに
無理矢理
負担を押し付けて
ばかりじゃないか
鞠子は
優しいから
笑顔でごまかして
我慢していて…
自分の本音を
いつも僕には
言ってくれないんだ
…もし今後
明と鞠子の子供が
出来たとしても
……
最初の約束通り
明の子供だとは
公言する気はないし
鞠子と僕の
二人の子供として
育てていく


…
そんなこと
言ってさ
まだ自分が
鞠子さんに
選んでもらえる側なんて
思ってるんだ？
そもそも
自分で選んだ大切な人と
夫婦でいられるだけで
幸せなはずなのに
どうして
そんなに子供に
こだわるのか
俺には理解できない
大人の都合に
振り回されて
生まれた子供なんて
ツラい未来が
待っているかも
しれないのに…
あ
明…
兄さんは
明日の朝
この家に
帰ってきて


今日の夜は鞠子さんと
二人きりにして…
ん
辰彦さん…？
おはよう
鞠子
今日の朝ごはんは僕が作るよ
ほんとに？
カッ
明はまだ起きていないのか…


緊急の仕事が
入ったので、
今日の午後の便で
帰ります。
また連絡します。
明
明のやつ…
なにも言わずに
出ていくなんて…
……
電話して…
ま
待って
辰彦さん
…電話は
後ででも
いいじゃない
朝ごはん
作ってくれる
んでしょう？
……
…ああ
そうだな
今日の午後は
鞠子が
行きたがっていた
展示会行こうか
うん
楽しみ


いい感じ！
そうだ…
辰彦さんと
結婚しようと
思えた理由は
まっすぐな愛情を
すぐそばで
感じられることが
幸せだったんだ
二人で過ごす
穏やかな毎日が
続いていけば
それで良かった
地域医療支援病院
中央総合病院




最近
吐き気が
酷かったでしょ
だから…
今日の昼…
先生に
診てもらったら
妊娠…
してるって…
ガタッ
ほ…
本当なのか
鞠子…？
…！
ありがとう
鞠子…
こんなに
嬉しいことは
ないよ…
ぎゅっ
グッ


ごはん
Merry Christmas
妊娠～出産まで
BABY BOOK
監修・佐藤奈河
妊娠初期
妊婦さん
不安な
きゃっ
みてみて！



あれ？
結婚式の写真はどこいったかな

えーと…

なあ鞠子
もう無理に身体を動かさないほうが良いぞ

ありがとう辰彦さん

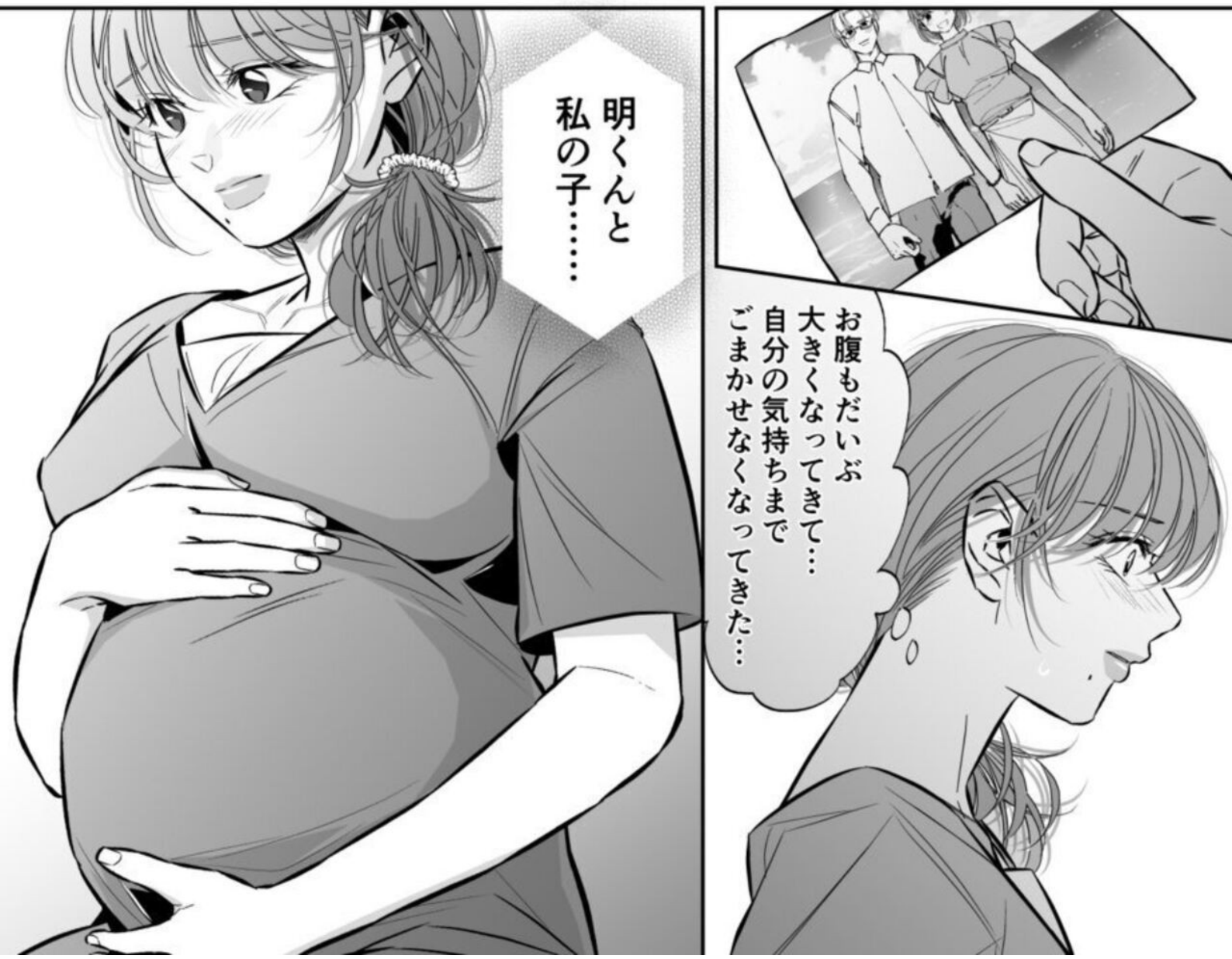
よいしょ

おこの写真懐かしいな
中学生だった明が撮ってくれたんだっけ

あのさ鞠子…

妊娠したことを明にもそろそろ伝えないか？


それは…
お腹の子と
鞠子の精神が安定するまで
明へ報告はしたくないって
言っていたけど…
僕はもう
覚悟は
できているよ
……


お腹もだいぶ
大きくなってきて…
自分の気持ちまで
ごまかせなくなってきた…
明くんと
私の子……


明くん
こんなところで
また1人で
勉強してるの？
マリちゃん！


姉さんと同級生で
近所に住んでいた
鞠子さんとは
昔からの
家族ぐるみでの
付き合いだった
マリちゃん
やっぱり
教えるの上手いね
これでも一応
両親と同じ
学校の先生
目指してるもん
あの頃は鞠子さんと
この図書館で
過ごす時間だけが
僕の大切な時間だった
もう少し
お静かに
うーん
集中して
勉強できる場所が
あればねぇ…
ねえ
マリちゃん
ギィ…


家…来る？
ベンも
いるよ
えー
久しぶりに
ベンに会いたい！
BEN
でも
明くん…
さすがに
私も本格的な
勉強を教えられる
技量も時間もないよ
受験勉強はちゃんと
家庭教師や塾とか
通わせてもらったら？
ううん
無理だよ…
父さんや母さんは
辰彦兄さん達ばかりで
末の僕には
関心がないんだ
その分
プレッシャーも無くて
気は楽だけどね


それに
マリちゃんが
隣にいてくれるから
勉強も頑張れるし…
ガチャ!
鞠子ちゃん!
ゴゴゴゴゴ
あ
辰彦さん
……
ベンの散歩に
行くんだけど
ちょっと息抜きに
一緒に行こうよ
その後
父さんたちと
みんなで
夕飯でもどうかな
え
良いん
ですか?
なあ
明も一緒に
行くだろう?
…ううん
僕は勉強に
集中したいから
夕飯もあとで
一人で食べるよ


辰彦たち
お似合いだな
明、また
鞠子ちゃんと
勉強するんだろ？
家に
呼んでくれよ
明
このカメラ
欲しがってたろ？
僕のお古で
良ければ
あげるよ
ほんと!?
ありがとう
辰彦兄さん！
ああ
だから
このカメラで
鞠子ちゃんとの
写真を
撮ってくれ
カシャ


アメリカでも
研究がんばってね
明くん
初めは
家庭教師の真似事
だったけど
初めての生徒が明くんで
本当に鼻が高いわ！
ここまで
頑張れたのは
全部鞠子さんの
おかげだよ
…鞠子さん
なんて
寂しい呼び方ね？
この歳になって
マリちゃんって
呼ぶ方が
恥ずかしいよ
この歳って…
明くんはまだまだ
若いんだから
私なんて
仕事ばかりしていたら
あっという間に20代も
終わっちゃうわ
あのさ
鞠子さん…


え？
鞠子さんも
一緒に向こうで…
…いや
やっぱり
なんでもない
日本へ
帰ってきたら
また話すから
僕と
結婚してほしい
鞠子ちゃん

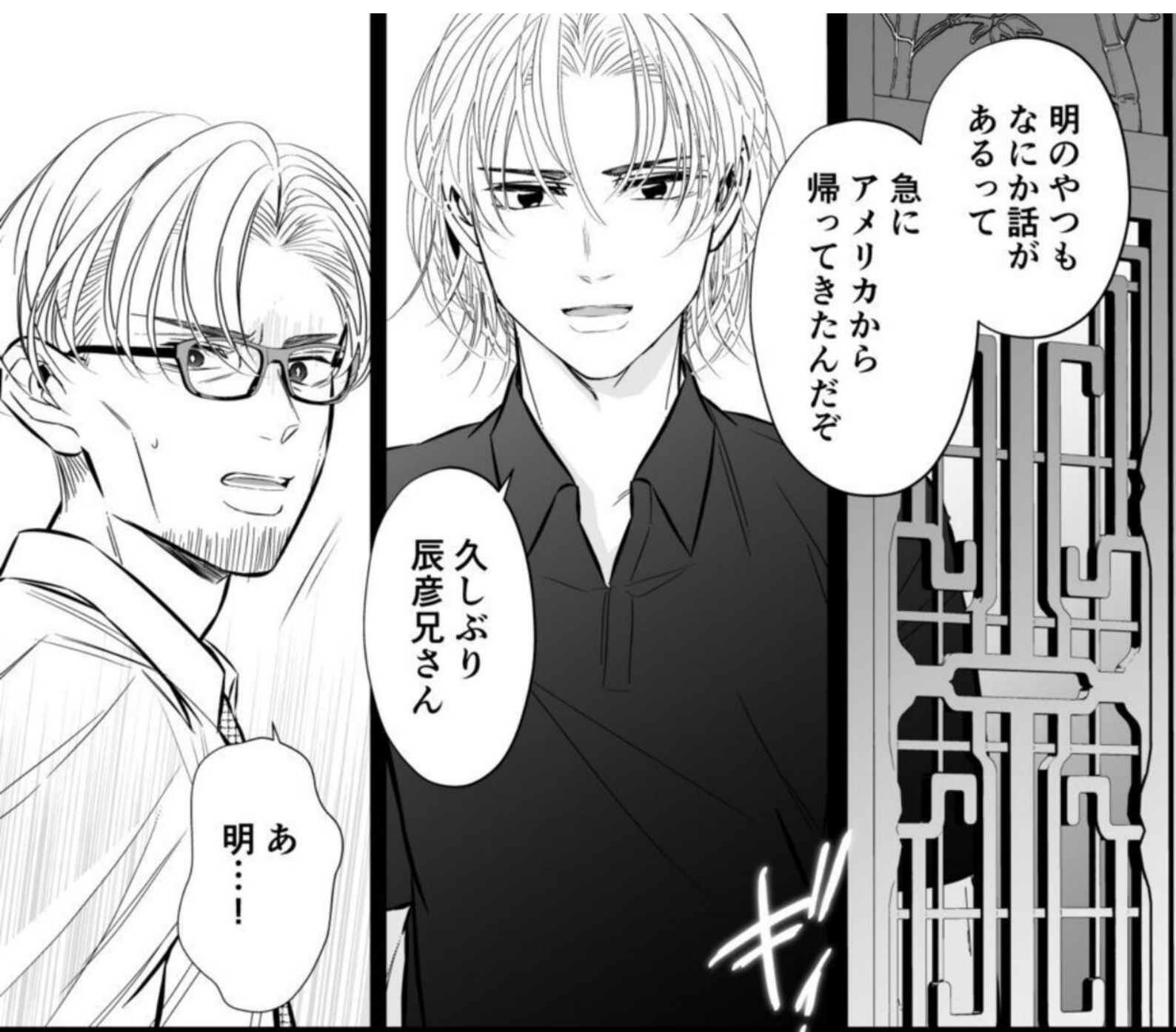

そんな…
私たち
お付き合いも
していないのに…
そんなこと
僕たちの間に
いまさら
関係ないだろう
鞠子ちゃんだって
僕の気持ちに
気付いていたはずだ
もしかして
明からなにか
言われたのか…？
そ
そうじゃ
ないけど…
結婚なんて
そんな急に…
結婚するなら
君しかいない
君の両親だって
そう望んでくれて
いるはずだ
誰よりも
君を幸せにすると
誓うよ、鞠子


そうかそうか
辰彦のとこ
男の子か！
うちの家系も
安泰だな
ワイッ
ワイッ
いやあ
本当に
めでたいなぁ
今日は
父さん達に…

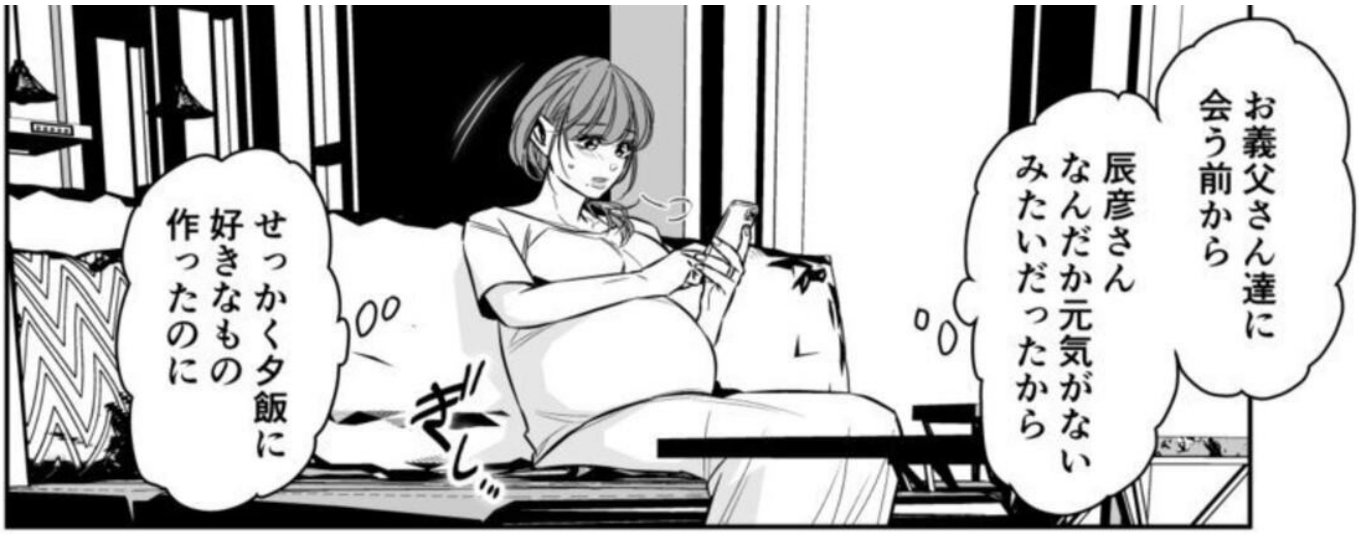

僕から
大切な…
話があるんだ


おお
なんだ
辰彦もか？


え…


明のやつも
なにか話が
あるって
急に
アメリカから
帰ってきたんだぞ
久しぶり
辰彦兄さん
あ
明…！

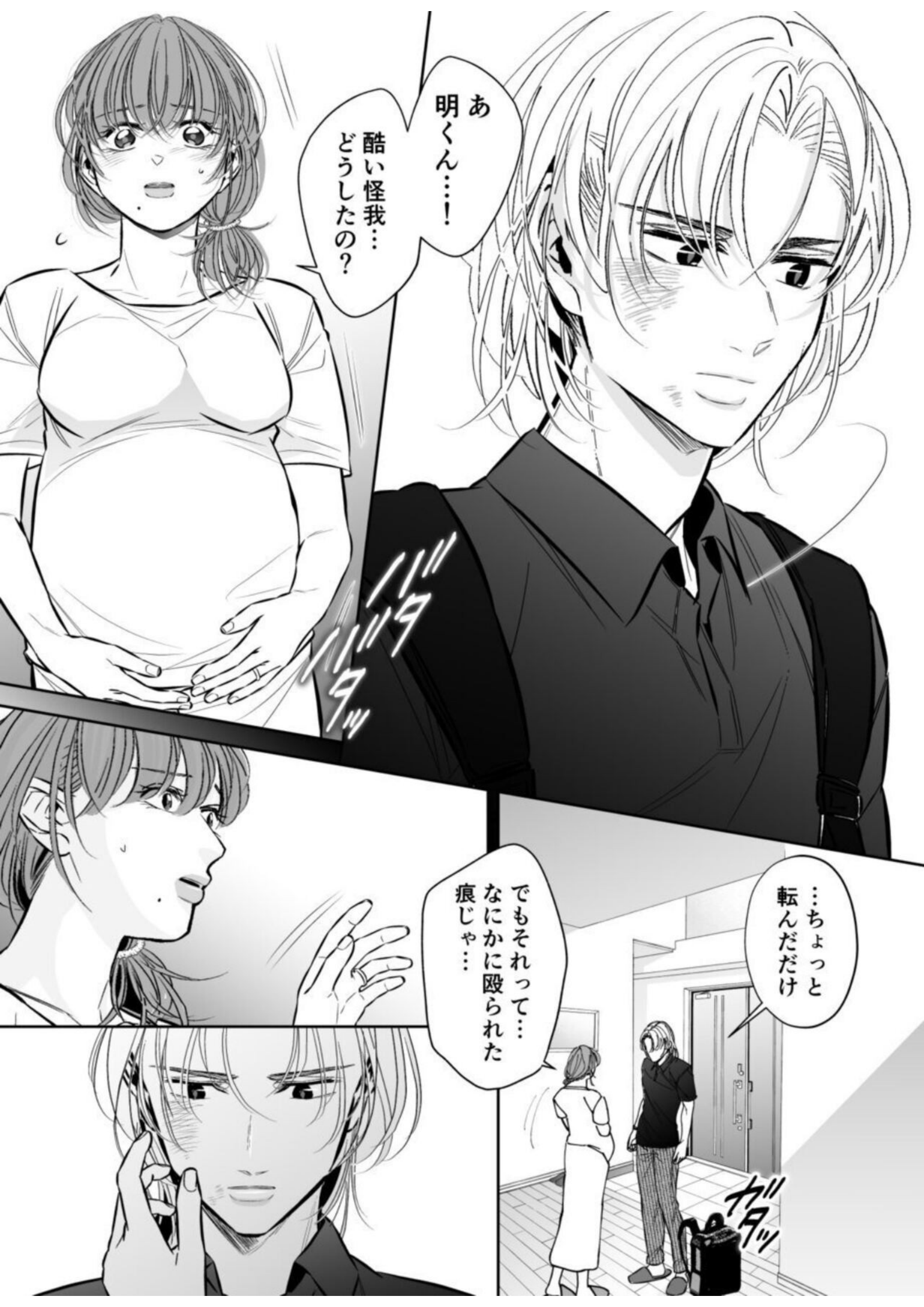

辰彦さん
ごめん
今日は忙しくて
本家に泊まる。
辰彦さん
急に
どうしたの
かしら…？


お義父さん達に会う前から
辰彦さんなんだか元気がないみたいだったから
せっかく夕飯に好きなもの作ったのに
ぎしっ


明日はみんなでベビー服買いに行こうって言ってたのにねぇ
ヒソヒソ


こんな時間に誰だろ…う…
ヒッ
解錠
通話/終話


ガチャ


あ
明くん…！
酷い怪我…
どうしたの？
バタ
バタッ
…ちょっと
転んだだけ
でもそれって…
なにかに殴られた
痕じゃ…
ガタッ


本当に
子供がお腹に
いるんだ…
ぱしっ
ビキ!
…あんなに
協力してきたのに
いざ妊娠したら
秘密にされるなんて
随分ひどい話だよな
ご
ごめんなさい…
私の身体が
安定するまで
明くんには
言わないでって
私が
辰彦さんに
お願いして…
ﾊﾟﾝﾊﾟﾝ…


こんな
大切なこと…
鞠子さんの
口から最初に
聞きたかった…


ぷは
はぁ…っ
ビクッ
ダメ…
明く…
ん…っ
あ…
ちゅ…
ン…ッ
カタッ
カタッ
き…!
きゅ
ほぁ…っ
ん…っ
ちゅ
ちゅ


あ…
こんなこと
もうダメ…
はあっ
今日の夜は…
辰彦兄さん
帰ってこないよ
これで
最後だから
もう一度だけ
鞠子さんに
触りたい…
あ
明く…ん…




こんな風に触られるのひさしぶり…？
兄さんともシてないんだ…？
ん…聞かないで…っ


あれ
鞠子さん
前よりも
胸大きくなった？
はぁ
あ
や…
明くん
だめ…っ
すごい
パンパンに
張ってるね
あ…
いやぁ…
ちゃんと
ママの身体に
なってるんだ…


妊娠すると
性欲高まるって
聞くから…
ん…
やぁ…っ
あ…❤
ぷるん
ぷるんっ
ビクン
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
鞠子さんが
発散できるように
今日は
シてほしいこと全部
シてあげるからね
ん…っ
ビクッ
ひっ❤
んっ❤
あぁ…っ❤
むぎゅ…っ


あっ
あ 明く…ん?
鞠子さん 上乗って…
ここ 舐められるの 好きだったよね…
あ… これ…
くちゅ
やだぁ 言わ ないでぇ…
あっ
すっごい 濃い匂い…
クラクラ するよ…
ん
ぺろ
ぺろ
ふぅ…っ
ちゅぽ
チュパ


ん…っ
もう
恥ずかし…ぃ
ぴくっ
ぐいっ
ちゅ
あ…っ
明く…ん
ビクッ
ちゅぱっ
ン…
くちゅ
ぷちゅ♥
すご…
なにも
出ないよ…
ん…♥
ちゅうう…


ちゅっ
ちゅう
んぅ…♥
ちゅ
ビクッ
ゾクゾクッ
奥まで
挿れないから…
鞠子さんの
ぜんぶ
感じたい…
あ…っん…
ぷちゃ


ふう…
あっ
あ
明く…ん
ビクッ
ずぽっ
ぬぷっ
ミチッ
ミチッ
ひっ…❤
あぁ…っ❤
ビクッ
ずろろろおぉ
こっ
こわい…
もっと
ゆっくり…
ビクッ
きゅん…
ぎゅうう…


すごい
綺麗だよ
鞠子さん…
はぁ…っ❤
あぅ…❤
ビクッ
ビクッ
ん…っ
あっ❤
ぬぽっ
ぴくっ
ん～～っ❤
ぴくっ
すりっ
すりっ
ビクッビクッ…!!


あ
ギッ
ギッ
こんなこと
ダメだって
わかってるのに…
すごく
気持ちイイ…
ぁ❤
んっ
ひっ❤
ゆさゆさっ
ゆさっ
ふっ❤
ビクッ
ビクッ
ぎゅ
ギッ
ちゅぱ❤
ちゅっ
ぞくっ
んっ
や…ぁ❤
ぞくぞくっ
妊娠したあの夜を
思い出しちゃう…？
あん…❤
ちゅーっ❤


明く…んっ
ぱちゅっ♥
ビクッ
ビクッ
ぱんっ
きゅっ
もう母乳出てきそう…
っ…♥
ん♥
きゅう
ぴんっ
ぴんっ♥
きゅ
ン…ッ♥
ちゅぱ♥
ちゅ
あっ♥
んっ
やだぁ…っ
ビクビクッ


あ
ふ…っ
ちゅ
ちゅうう
あっ
ん…❤
ぷちゅ
ぞくぞくっ
お腹大きくなっても
締めつけ具合
変わらないんだね
ふっ
ふっ
あ…っ❤
ぐぐぐっ
あぁ…っ
すご…❤
あっ❤
ビクッ
ビクッ
ぱん❤
ぱちゅ


ん…♥
むぎゅ
きゅっ
ぎゅ
ぎゅっ♥
あ…♥
はぁ…っ
あ♥
もっと…お
妊娠してから
ずっと
こんな風に
触って
ほしかった…
すぽっ
すぽっ
ぴくっ
ぴくんっ
ぐぐっ
くりっ
きゅ…っ
きちゃ…う
あ…っ
グリグリ


ん…
明くん…
はぁっ
ビクッ
すりっ
ん？
あ…
はっ
はっ
ちゅっ
はっ


ごめん
鞠子さん…
明くん…
ビクッ
ぱさっ
…この間
日本から
電話があったんだ
うちの父親達に
鞠子さんのお腹の子は
自分の子供じゃないって
本当のことを
言いに行くんだって
辰彦兄さんから…
え…？
ぎゅっ
鞠子さんが…
妊娠…
してる…？


ああ…
連絡が遅くなって
すまなかった、明
鞠子は…
日に日に
母親の顔に
なっていて
毎日心穏やかに
以前よりも笑顔で
過ごしているよ
全部…全部
僕の望んでいた
光景だ…
なんて幸せで
贅沢な毎日を…
なにもしていない
なにもできない僕だけが…
過ごさせてもらえて
いるんだろうと
最近は考えているんだ
辰彦兄さん…？
どんどん大きくなる
お腹を見て
子供に対する考え方が
今更…
変わったみたいだけど
きっと
また
鞠子さんと
ちゃんと話をせずに
一人で勝手に
暴走してるんだろうな
って思って
帰ってきたんだ


それで今日
俺達の間に
金銭トラブルがあるって
父さんや兄さん達の前で
嘘をついて暴れて
辰彦兄さんが
子供の話をできないように
話題を逸らしたんだ
明くんが…
そしたら
止めに入った
誰かの拳が
頬に当たるわ、
父さんには
二度と顔を見せるな
って怒られて
散々だったけどね
辰彦兄さんは
頭を冷やして
冷静に考えるために
ホテルに泊まるから
「今日は
家に帰らないから
鞠子と話をしてほしい」
そう言われて来たんだ
今更
なにを話せって
感じだよな…
どうして
辰彦さんを
止めてくれたの
…？


明くんは
この子を…
どう
したい…？
どうって…
この子が
家族に
歓迎されないのは
俺が
許さない…


生まれてくる
この子は
寂しい思いをせずに
鞠子さんと兄さんの
愛情をたくさんもらって
必ず幸せになるんだ
きゅっ
明くん…
ありがとう…


鞠子
昨日は明とちゃんと話せたか…？
別になにも…
明くんと話すことなんて無かったよ…
……
僕は昨日父さんと話したんだ…
ギッ
ギリ…


お腹の子が無事に
生まれてきてくれることを
みんな
楽しみにしているって…
それと
父さん達がベビーベッドを
プレゼントしてくれるって
言われたよ
早く
この子に
会いたいな
…うん
ぎゅっ


それから
数か月後
あぁ…ッ
ふぅ…っ
ハァ…ッ
はぅ…ッ
びくっ
びくっ
ぬぷぷ…


ふうぅ…っ
うぁ…ッ
ビクビク…!!
鞠子…!
……っ!
ビクッ!!
ビクッ!!
ガタッ!!
あぁ…っ
はぁ…っ
あぁ…!
はぁ…っ
ずずずっ!!


おぎゃあ！
おぎゃあ！


かわいいねぇ
どっちかっていうと鞠子さんに似ているかなぁ
ありがとう鞠子…
ええ辰彦さん
僕たち家族みんなでこの子の幸せを一番に考えよう


もうすぐ帰ってくるかなー？
ただいま鞠子…
来たよ


ひさしぶり
鞠子さん…
ラ？
ニ
明くん
抱っこ
してあげて
え…

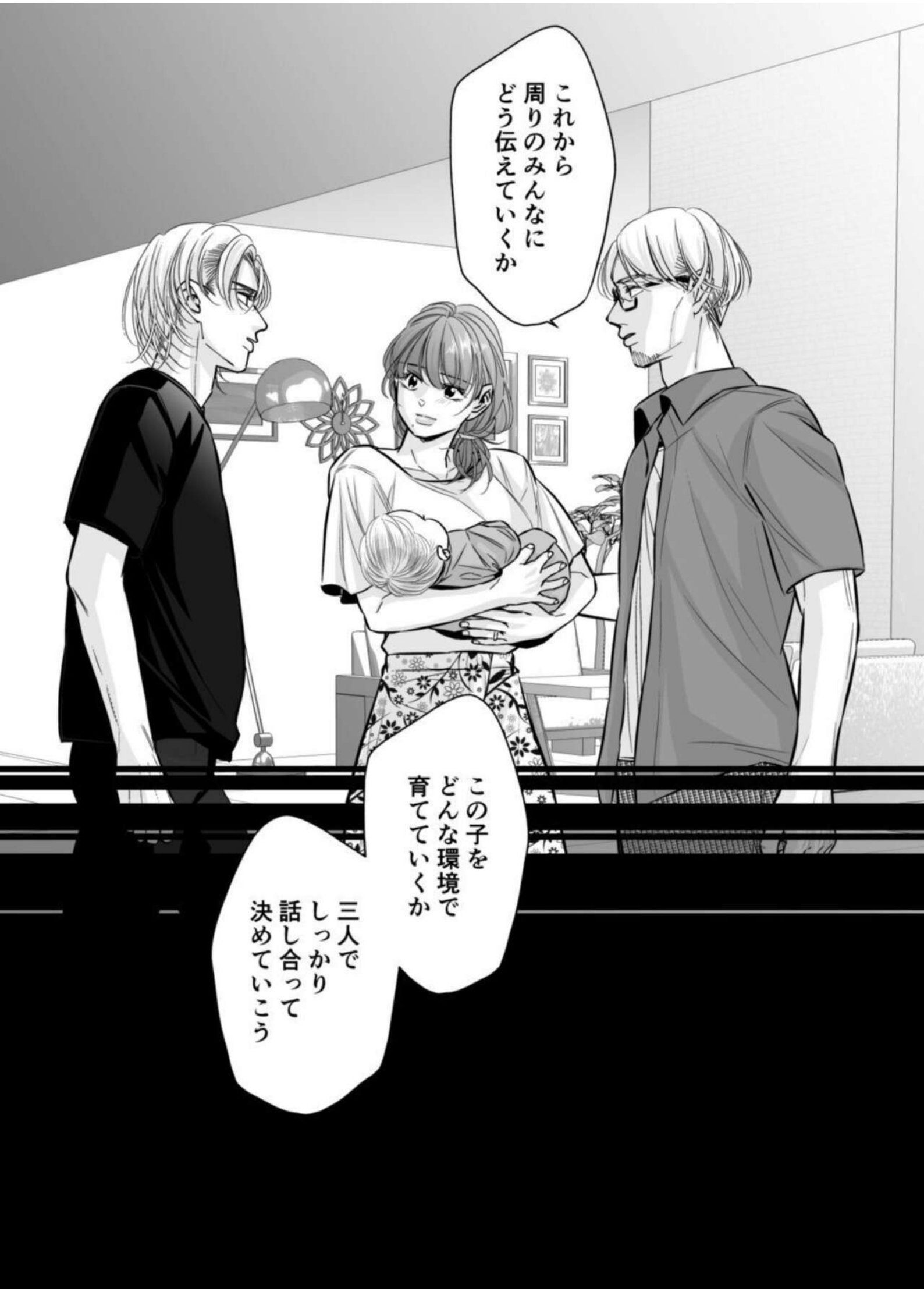

……
大丈夫よ
ラ〜っ
へにゃあ
あっ〜


まっ


鞠子さんのこと
だけじゃなくて
兄さんのことも
俺は
二人のことが
好きだったから
気持ちのやり場が
無くて
ずっと二人が
うらやましくて
酷いことを
言ったりした…
あぅ〜っ
でも
ごめん…
やっぱり
自分が父親だって
黙って生きるのは
俺には
無理だ…


もうこんなに
この子が
愛しいのに
一緒に
いれないのは
すごく苦しい…
きゅうっ…
だから
もう今日きり
この先二度と
この子にも
鞠子さんたちにも
顔を会わせないから


この子は
私たち夫婦と
明くんの子だよ
はい
明…
僕たちも
同じ気持ちだ
もっと
始めから
自分の本音を
ちゃんと相手に伝えて
話し合うべきだった


これから
周りのみんなに
どう伝えていくか
この子を
どんな環境で
育てていくか
三人で
しっかり
話し合って
決めていこう


あれっ？
ママ
聞こえてる？


あれっ
付いたか？
あ
通話始まったよ
辰彦さん
あっ
ひさしぶり
ママパパ！
カタ
カタ
鞠子さんと
通話出来たか？

うん
こっちの
新しい学校は
楽しいかって

画面越しに見ると
小さい頃のパパに
似てきたなって
パパが…

えーと
向こうのパパも
言ってたよ…！

んー、パパが
2人いるのって
やっぱり
言いづらいや

うーん…

また一緒に
暮らすことになった
養子縁組の子たちにも
会いにきてだって！

今度は
5人で一緒に
暮らすんだって

いいよなあ
大家族って！


…やっぱり
兄弟は
ほしかったか？
うーん
僕にはママと
2人のパパが
いるから
じゅうぶんかな！

あとがき

ここまで読んでくださって
ありがとうございました！
描きたかったキャラクターと
想い描いていたラストを
楽しく描けて幸せでした！

また次回作も
読んでくださったら
嬉しいです！

初恋谷

